



## F-T スクール体験記①尾花沢地区～ほたるを知り、民具に触れる～

「ふるさと愛を育むまち」を目標としている尾花沢市。

今年度より実施の「尾花沢こども未来PLAN」の1つ、F-Tスクールが10月2日(月)と17日(火)に、市内全小学校の5年生又は6年生を対象に行われました。これは、市内5地区の宝(Five-Treasure)について触れる体験学習を通して、

### ①地域を知る ②(他の学校の)仲間と交流を深める

ことを目的としたものです。

今号から5回にわたって、各地区での体験活動の様子を、のびのびとした子どもたちの手記を紹介しながらたどっていきます。

1回目は、尾花沢地区。牛房野地区にある「ほたるの里郷土資料館」にて、「ほたる、民具と土器」をテーマに行われました。

○私は、ほたるの里郷土資料館で3つのことを学習できました。1つ目は「ほたるの一生」についてです。ほたるは、27℃以上の気温でないと飛ばないことなどを、写真を基に教えていただきました。2つ目は「昔の米の脱穀」についてです。実際に貴重な脱穀体験もできました。3つ目は「昔の民具」についてです。いろいろや昔の冷蔵庫などをたくさん見ることができました。他にも、出土した土器に触れる体験もありました。楽しかったし、いろいろなことを知ることができました。【福原小・5年 菅野結愛<sup>ゆあ</sup>さん】

○ほたるの里資料館では、普段できない体験ができました。昔の人たちが身に付けていた服装になってみました。服は全てわらでできていてとても軽かったです。夏は暑さを、冬は寒さを防ぐことができると聞いて、昔の人たちにとって、とても便利だったんだなと思いました。一番驚いたのは資料館に展示されているものの中には、ほたるの里ら辺でとれたものがあるということでした。家の周りがあるかもしれないので、僕も探してみたいな、と思いました。普段できない貴重な体験ができたので楽しかったです。また、時間があるときに家族と行ってみたいな、と思いました。

【玉野小・6年 折原山斗<sup>やまと</sup>さん】

○私は、尾花沢地区の土器、民具について学習しました。土器、民具を選んだ理由は、あまり土器や民具のことを知らなかったし、本物を見てみたかったからです。学んだことは、昔の民具はほとんど木やわらでできているということや、あまり安全なものではなかった、ということです。また、本物の矢じりを触ったり、土器をじっくりと見たりして、昔の人になった感じがしました。最後に火起こしをして、煙が出るまでだったけど「成功」と言われたので楽しかったです。【尾花沢小・6年 黒山亜咲<sup>あさき</sup>さん】



【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課  
教育指導室長 工藤 雅史  
TEL 23-3330